

# 「5.16 記念のつどい」を成功させましょう

事務局長 島田

当会創立 20 周年、記念のつどいを 5 月 16 日(土)西区文化センターで開催します。

今回の講師である伊藤千尋さんは、朝日新聞社の記者として世界 85 か国を取材し、“憲法 9 条こそ世界平和の指針”と実感されている国際ジャーナリストです。また、日本国内では「9 条の碑」設置運動を進めています。

高市首相の「憲法改悪」の動きの中、今回のつどいは、本当に時期に適した取り組みとなりました。このつどいで、伊藤さんから憲法 9 条の世界的意義や地域での 9 条の運動をどう進めていくかを学び、改憲の動きを押しとどめる一歩としましょう。

高市首相は、2 月の総選挙で自民党が単独で 3 分の 2 以上の議席を獲得したため、憲法改悪に執念を燃やしています。この数か月間の動きを見れば明らかです。日米首脳会談では、トランプ・ネタニヤフによるイラン攻撃に何ら批判することなく、世界から GOMASURI と揶揄されるほどトランプを持ち上げました。日本がこの首脳会談で、ヨーロッパ首脳のイラン攻撃批判とは真逆にアメリカ言いなりの国であることを世界に印象づけました。しかし、イラン攻撃に軍事協力ができなかったのは「憲法 9 条」の存在であったことが明らかになりました。



国内では、イラン攻撃による原油高での生活危機の中、福祉医療制度などの改悪を進めています。憲法改悪については、4 月 12 日の自民党大会で「時は来た、憲法改正の発議に目途が立った」とし、この 1 年で目途を立てる考えを示しました。今参議院の憲法審査会で具体的文案の検討が論議されています。また、スパイ防止法の前提である「国家情報会議」設置法案の衆院委での可決、4 月 21 日には武器輸出のルールを定めた「防衛装備移転 3 原則」を変更する閣議決定を行い、殺傷能力のある武器輸出を解禁しました。

このことは、川崎重工、三菱重工が潜水艦や航空機などを製造しており、神戸市が軍需産業の拠点となることは必至です。戦争になれば軍事関連施設への攻撃が当然で、イラン攻撃でも明らかです。また、3 月には国から神戸空港の自衛隊使用の打診がありました。神戸市議会での憲法改悪の動きにも注視しましょう。

しかし、高市政権のこうした憲法改悪の動きに、「戦争反対、憲法改悪反対」の声が急激に高まって、「4 月 19 日行動」には国会前に 3 万人を超える人々が集まりました。この動きは若い人の参加も含めて全国に広がっています。

国会の議席上では、憲法を守る護憲派の政党が少なくなりましたが、「憲法守れ」の国民の怒りが高まっていることに確信をもち、周りの人に「9 条を守ろう」を訴えましょう。重ねて、今回のつどいを成功させ、憲法改悪の動きを止める一歩にしていきましょう。